

《定例北海道函館方面公安委員会会議等概要》

令和8年1月28日（水）、次のとおり定例会議を開催した。

1 審議・報告内容

(1) 2月中行事予定

高橋警務課長から、2月中行事予定について報告を受けた。

(2) 監督上の措置事案概要（令和7年10月～12月末）

能戸監察官室長から、監督上の措置事案概要（令和7年10月～12月末）について報告を受けた。

中田委員から「被処分者に対しては、処分量定が大変重く厳しいものであるということを実感してもらえよう指導願いたい。」旨の発言があった。

(3) 12月中の苦情受理・措置状況

能戸監察官室長から、12月中の苦情受理・措置状況について報告を受けた。

岡崎委員から「過去に執拗なクレームを受けて大変苦勞した経験がある。万全な対策は難しいと思うが、現場の職員が少しでも楽になれるように、対応マニュアルの整備をはじめ、各種対策を進めていく必要があると思う。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「カスハラ的な言動への電話対応については、時間を決めて打ち切るなど、対策を講ずる行政機関も増えている。警察においても、他の業務の支障にならないよう対策を強化していかねばならないと思う。」旨の発言があった。

(4) 受験期における痴漢事犯撲滅を目的とした啓発、警戒活動の実施結果

徳田生活安全課長から、受験期における痴漢事犯撲滅を目的とした啓発、警戒活動の実施結果について報告を受けた。

中田委員から「引き続き、検挙のみならず「見せる警戒」によって抑止効果を高めていただきたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「監視の目があることによって、未熟な若者が行為に及ぶのを思いとどまらせるなど、大きな抑止効果が期待できる。意義のある取組なので、継続願いたい。」旨の発言があった。

(5) 「110番の日」における広報啓発活動

鎌田地域課長から、「110番の日」における広報啓発活動について報告を受けた。

中田委員から「いたずら等の通報が非常に多く、驚いている。本当に困っている人に的確に対応できるように、機能面の改善をはじめ、まだまだやれることはあると思うので、引き続きよろしく願いたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「警察業務を進める上で、住民からの応援は欠かせないものである。啓発活動には、住民との距離感を縮め、警察の敷居を低くする効果もあるので、継続願いたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「少しずつではあるが、「警察相談電話#9110」も認知されてきたと思う。引き続き、適正な110番通報の周知に向けた各種取組をお願いしたい。」旨の発言があった。

(6) 冬期運転訓練の実施

河奥交通課長から、冬期運転訓練の実施について報告を受けた。

中田委員から「冬道運転に慣れていない外国人旅行者等対策として、訓練動画を視聴してもらうのも良いと思う。レンタカー会社への働き掛けをはじめ、引き続き、冬型事故抑止対策を推進願いたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「冬道運転の経験が少ない一般ドライバーにもこうした機会があれば良いと思う。大変重要な訓練なので、頑張ってください。」旨の発言があった。

2 決裁・報告内容

(1) 警備業法等の行政処分の基準に関する規程の一部改正について報告を受け、決裁を行った。

(2) 猟銃所持許可取消処分の審査請求に係る弁明書について報告を受けた。

